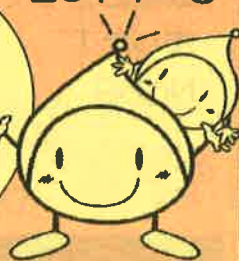


ささえ

地域の色々な団体のネットワークをコーディネートする地域コーディネーターが街の活性化には必要です。



エールくんとミニさぼちゃん

奇数月発行

地域コーディネーターの役割と仕事

地域コーディネーターとはさまざまな分野で活動されている団体をつないで、地域を元気にしていく人です。地域資源や地域にあったニーズを掘り起こし、地域活性化を図ることが仕事です。

岩国市ではさまざまな分野の団体が活躍中です。地域コーディネーターが「団体同士を結び付ける役割」を果たすことで、岩国市はますます活性化するのではないのでしょうか。

- 地域での担い手や支援者の育成（複数の地域コーディネーターの育成）
- 市民、NPO、企業、行政、大学、金融関係、商店街、自治会などの様々な団体との横の連携、ネットワークづくり（人脈と連携）
- ほかのまちの事例、専門員を招き、講演会を開く。⇒専門性を身につける
- 地域の様々な情報を口コミやデータをもとに調査して地域の課題を把握する（地域に積極的に足を運び、ニーズを吸い上げる）
- 他分野、異分野ともつながり、地域連携を進める（地域経済活性化をめざした連携）
- 義務感を持たず、楽しみながら活動する
- 長く、続ける意識を持つ

地域コーディネーターはみんなとつながりながら、楽しく、長く活動し、かつ、調査、分析、専門性の知識を持つ努力が必要

「ママカフェ」報告

3月29日（土）、「ママカフェこの指とまれ！」を開催しました。52組の乳児とお母さんやお父さんがベビーサインやベビーマッサージ、離乳食講座に参加され、ママさん同士のグループがあちらこちらに生まれました。



ベビーサインの様子



離乳食講座の様子

母子保健推進協議会や子育て支援課、子育てサークルからの情報がたくさんありました！

お礼（寄付）

地元の企業からたくさんの方のカレンダーとメモ用紙を寄付していただきました。

団体に配布し、活用されています。ありがとうございました。

取材に行ってきました！
No.69

新規登録団体紹介♪♪

岩国小彼岸桜の会

岩国地域のまちおこしに協力することを目的に平成26年2月に正式に会として発足しました。岩国のシンボルである桜をできるだけ長い期間観てもらえるようにと願いを込め、開花期間の長い小彼岸桜を植樹することで、観光や人の往来を活発にすることを目的に活動する団体です。

小彼岸桜は桜の名所である信州の高遠城址（長野県）の桜に起源をもつもので東京都の「東村山小彼岸桜の会」の協力で苗木を入手して市内各所に植樹する活動を行っています。

昨年は100本の植樹を行いました。今後は錦帯橋周辺にも小彼岸桜を植えたいそうです。

岩国小彼岸桜の会の詳しい情報は下記 URL にてご覧いただけます。

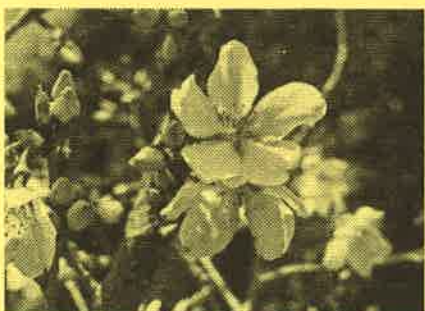
<http://sky.geocities.jp/fujimorikatsu/Kohiganzakura/top.html>

●お問い合わせ●

岩国小彼岸桜の会 代表 重野 眞夫さん
0827-41-0529



小彼岸桜の植樹の様子



早くも咲いた小彼岸桜

認知症予防クラブ

認知症に強い関心を持った方々が「明るく 頭を使って 諦めない」をモットーに集い、認知症予防に努める活動をしています。

毎月1回各地域のサロン開催地等に出向いて認知症予防ゲームによる脳の活性化訓練を実施して認知症予防に努めています。

5月31日(土)、13時より岩国市中央公民館 集会場にて登録団体交流会が開催されます。この交流会にて認知症予防ゲームを実際に体験できますので是非お越し下さい。

参加費は100円(飲み物代)です。



●お問い合わせ●

認知症予防クラブ
代表 村岡 恒信さん
0827-21-8871

ハミングベル

ハミングベルは絶妙なチームワークから繰り出す繊細な音をミュージックベルで奏でて人々に音楽の楽しさを伝える演奏活動をしています。

ミュージックベルを演奏することにより自己啓発と共に周囲の人々の心を和やかにし、楽しんでもらいたいと代表者の田屋敏子さんはおっしゃっています。

老人福祉施設等の慰問やボランティア演奏依頼に積極的に取り組みたいとのことですので是非ご依頼下さい。

●お問い合わせ●

いわくに市民活動支援センター
TEL 0827-44-0288



いわくに市民活動支援センターでは市民活動団体の登録をお待ちしています。

登録の条件：3人以上の会員で構成されており、政治、宗教、営利を目的としない市民の自主的、主体的な社会参画活動を行う団体。

登録のメリット：情報の受発信や情報交換ができる。行政や他団体とのネットワークづくりができる。

市民活動団体のイベント情報



平成26年度 点訳ボランティア養成講習会

視覚障がい者の福祉増進のため視覚障がい者の文字・点字技術を習得して、視覚障がい者の理解と点字でのコミュニケーション伝達・情報提供・図書製作等に携わる点訳ボランティアの養成。

日時 平成26年6月7日(土)～8月9日(土) 13:30～15:30 (全10回)

場所 岩国市中央図書館 定員 20名(先着順) 対象 高校生以上の方

受講料 無料(別途テキスト代 648円)

申込先 岩国市高齢障害課 電話 29-2522 申込方法 電話かハガキに住所、氏名、年齢、連絡先

申込締切 平成26年5月28日(水) お問い合わせ 岩国点訳あすなろ会 電話 21-1709

遺言書は家族に遺す最後の手紙 遺言・相続について考える講座

「配偶者に先立たれた」「一人で生活している」「親族がいても何らかの理由でおひとりの方」・・・そんな方の生活を支えられたらと専門家が講座を開催します。

日時 平成26年5月17日(土) 13:00～16:00

場所 平田供用会館

講師 白木裕二さん(白木裕二司法書士事務所)

支援センターからのお知らせ

平成26年度 第1回登録団体交流会



日時 平成26年5月31日(土) 13:00～16:10

場所 岩国市中央公民館 集会場

内容 登録団体交流会、名刺交換会、ピーチクパーチク賞、認知症予防教室

市民活動さぽーと講座(初級)「マナー講座 おもてなし～話し方のコツ」

講師 有限会社 ケイ・アンド・ワイ 温品 富美子さん

(接客マナー・ビジネスマナー・コミュニケーション能力開発 研修講師)

ボランティア ちょっといいはなし Part I. 「ツバメの子育て見守り隊」

岩国市中央公民館入口、エレベーター前の軒先にツバメが毎年、巣を作っています。「ツバメの子育て見守り隊」をされている、岩国市岩国在住の藤中公人さんは、ここ15年間ツバメの子育てとツバメの飛来数を観察し、年々数が少なくなっている状況に心を痛めておられます。



この時期になると糞受け台を造ったり、カラスから巣を守るためにネットを張ったり、子育てが終わったツバメがまた来年も中央公民館に帰ってくるようにと毎日巣を見守っておられます。

お話を伺うと、ツバメの数の減少の原因の一つは、「人々の無関心」と「糞が不潔と巣を落とすこと」と「天敵のカラスが襲うこと」だそうです。人間を頼って「子育て」をしているツバメにもっと関心を持って見守ってほしいと願っておられます。

ボランティア ちょっといいはなし Part II 「市民活動団体への寄付」

市民活動カフェのチラシ作成をお願いしている後洋子さんより、子どもの福祉関係の団体「にこにこ」に寄付したいとの申し出があり、寄付金が贈呈されました。

「にこにこ」はダウン症で生まれた子どもを持つ仲間が月一回集まって、悩みや不安、つらい気持ちを仲間と分かち合っている会です。

会の代表西本奈緒美さんは「このような形で支援していただけることがとても

うれしいです。ダウン症の子どもたちのために役立てたい。」と感激されていました。 贈呈の様子





助成金ニュース

①内容、対象②助成金額、助成率③締切④問合せ先
*詳しくは、センター又は各問合せ先までお願いします。

青少年育成活動を支援

- ① 山口県内の青少年団体及び青少年、青少年団体を育成しようとする団体。
- ② 1事業につき上限5万円 10/10
- ③ 平成26年5月31日(土)
- ④ 河村財団常務理事兼事務局 Tel:083-928-1411

県域配分助成

- ① 子どもの生活と子育てを支援するための活動、高齢者の地域生活を支えるための活動、災害対策のための活動、更生保護を目的とした活動、等
- ② 上限200万円、約8割
- ③ 平成26年5月30日(金)
- ④ 社会福祉法人 山口県共同募金会 Tel:083-922-2803

男女共同参画調査研究委嘱事業

- ① 女性の社会進出促進のための調査研究、仕事と家庭・地域生活の調和を図るための調査研究
- ② 40万円以内 10/10
- ③ 平成26年6月10日(火)
- ④ 公益財団法人山口きらめき財団 Tel:083-924-9690



岩国のへえ〜 60の巻

篤姫が錦帯橋を渡っていた!



徳川十三代将軍家定の正室・天璋院篤姫が鹿児島から江戸へ嫁ぐ山陽路途中、高森宿(周東町)に篤姫一行は宿泊しました。その際、彼女は「回り道をしてでも岩国城下へ行き、錦帯橋を渡りたい」と岩国藩へ使者を送って申し入れましたが、「橋が破損しているため、通行をお断りする」との返事がありました。

使者は篤姫に船での見物を伝えに帰りましたが、その翌日、なんと篤姫は番人と押し問答の末、強引に錦帯橋を渡ったという記録があったのです。

彼女の非常に好奇心旺盛で豪胆な性格が感じられます。

橋の上から眺めた錦川とその風景は彼女の眼にどう映ったのでしょうか…。

この問答は岩国徴古館に保管されている岩国藩の出来事をつづった「御用所日記」に記載されています。

編集後記

いわくに市民活動支援センターも14年目に入りました。

岩国市内にはNPO法人も40団体あり、いわくに市民活動支援センターの登録団体も90を超えています(毎年度更新)。その他、岩国市内での任意活動団体を合わせれば、200を超える団体が活動されています。

たくさんの市民活動団体に対して、支援センターはどうあるべきか、原点に返って「組織」や「活動」を見直し、できる限りのさぼーとをしたいと思えます。

みなさまのお声掛けとお力添えをお願いいたします。

支援センター利用状況(3、4月)

- ・印刷、コピー、大判プリント 368件
- ・相談 51件
- ・登録団体数 65団体(のべ数)

発行: いわくに市民活動支援センター

〒741-0062 岩国市岩国4-4-15
 (岩国市中央公民館3階)
 TEL 0827-44-0288 FAX 0827-44-0324
 E-mail: shien@sky.icn-tv.ne.jp
 http://www.sky.icn-tv.ne.jp/~shien/